

2022年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成	
績	

2022年度
大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験
(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本史 専攻分野)

左の問Ⅰ～問Ⅲのうちから1問を選択して解答せよ。

問Ⅰ 日本古代史を専攻する者は、これまで取り組んできた自身の研究について、広く研究史上に位置付けるとともに、博士論文の構想を記し、その意義を論じよ。

問Ⅱ 修士論文の成果を踏まえて博士論文の構想を示し、さらにそれが日本近世史研究においてどのような積極的意義を持つと考えるのか、具体的に論述せよ。

問Ⅲ 自らがこれまで行ってきた研究の成果と、博士論文の具体的な構想とその作成計画を説明せよ。また、その成果と構想は、今後の近現代史研究の全体な動向に対して、どのように貢献し、いかなる新しい歴史像を提示するものなのか、論述せよ。

受験記号番号

3 / 4

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

受験記号番号

$$4 \quad / \quad 4$$
This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.